
公式:formula

ゴーリキー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

公式：formula

【NNコード】

N3068Y

【作者名】

ゴーリキー

【あらすじ】

只今大幅修正中。

一応、学園異世界？異能バトルものです。
ベースは地球で細かいところが違います。
エブリスタでも書いています。

よろしくお願ひいたしますm(ーー)m

最後に

この物語はフィクションです。実際の個人・団体とは一切関係ないです。

――――

一生懸命書いたのに消してしまいました(Ｔ・Ｔ)
書き直します(泣)

操作法わけわかめちゃんです。orz

ゴメンナサイ。

formula:0～Prologue～（前書き）

大幅改訂。

改訂といつ言葉は軽々しく使いたくないのでですが規模が規模なので
まあ大幅書き直し、が適切な表現かもわかりませんが（笑）

ぜひ誤字、脱字、感想等よろしくお願ひいたします。

息抜きに書くので不定期更新と思われます。

formula:0~Prologue~

突然だが、この世界には“公式”と呼ばれる異能が存在している。

我々人類は有史以来、人々はその力を使って様々な奇跡を起こしてきた。

いま、私が有史以前ではなく有史“以来”という言葉を用いたのは、公式が常に人々の既知を越えることがなかつたからである。

人類が初めて火を目にしたとき、物質が酸化する現象のうち“燃焼”という種類のものに関する公式を手にした者が現れた。

火を手にした者はその力を用いて部族の中でも高位の地位を手にし、やがてその部族の長となり、発展し、村が国となり、部族の長は王となつた。

このことを公式のみに目を向けたならば、人々は常に自らの予想の範疇の端で進化し続けてきたということだ。

火を目にしたとき、火を“理解”できたはずはない。
なぜなら火がおきたのは偶然の産物であつたはずだからだ。

公式は、人類の知の広がりに比例し、より高度なものや時には狭義なものになりはてて、多種多様なものに変化していった。

そしてまだ人類が洞穴に暮らし、石を穿ち、鋭利な石器を作つていた頃にも“公式—formula”は確かに存在していた。

この物語は“公式”という特殊性により別の進化の道をだどつたある世界の物語である。

formula～Prologue～（後書き）

文章固すぎたかな??

導入部が終わればやわらかくなるはずです。

きっと(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3068y/>

公式:formula

2011年12月21日13時51分発行